



IBJ* 防除情報 第47号

(*Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)



今月の特集

田植同時処理

水稲栽培のコスト低減が求められる中、省力的雑草防除法として、除草剤の田植同時処理の普及面積が拡大しています。田植同時処理に適用する除草剤も、一発剤・初期剤の両方面で登録薬剤が増加しております。

今月の防除情報は、この田植同時処理に注目し、弊社の該当製品を御案内致します。



石原の田植同時処理 除草剤

現在、弊社水稲用除草剤の中で田植同時処理ができる（「使用時期：移植時、使用方法：田植同時散布機で施用」の農薬登録を有する）製品の中から代表的なものをご紹介します。

初期剤 : ワンベストフロアブル

初期一発剤 : ドウジガード1キロ粒剤75・51、
ドウジガードフロアブル・Lフロアブル

初期一発剤 : ワンオールS1キロ粒剤



初期剤 ワンベストフロアブル

- ・拡散性にすぐれたフロアブル剤です。
- ・SU抵抗性アゼナ等の一年生広葉雑草やホタルイにも高い除草効果を示します。
- ・処理後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm程度）を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

適用雑草と使用方法（田植同時処理の登録のみ抜粋）

作物名	適用雑草名	適用土壌	10アール当り使用量	総使用回数*	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ（東北、北陸） ヘラオモダカ（北海道、東北）	砂壤土 ～ 埴土	500mL	本剤：1回 テニクロール：2回以内 ピラゾキシフェン：2回以内 プロモブチド：2回以内	全域の 普通期および 早期栽培地帯

使用時期は「移植時」、使用方法は「田植同時散布機で施用」。

*総使用回数は、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。





石原の田植同時処理 除草剤

初期一発剤

ドウジガード1キロ粒剤75、1キロ粒剤51
ドウジガードフロアブル、Lフロアブル

・田植同時処理が可能な一発剤で、クミルロンの作用により、多年草を含むカヤツリグサ科雑草に高い防除効果を示します。また、早めの処理により、SU抵抗性ホタルイに高い除草効果が期待できます。

・水の出入りを止め、湛水状態のまま、1キロ粒剤は田面に均一に散布、フロアブルは水田全面に行きわたるように散布してください。散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。



適用雑草と使用方法(田植同時処理の登録のみ抜粋)

製品名	作物名	適用雑草名	適用土壌	10アール 当り使用量	総使用回数*	適用地帯
ドウジガード 1キロ粒剤 75	移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミズガヤツリ(東北)、ウリカワ オモダカ(東北)、クログワイ(東北) シズイ(東北)、ヒルムシロ、セリ	砂壤土 ～ 埴土	1kg	本剤：1回 クミルロン ：2回以内	北海道 東北
ドウジガード フロアブル	移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ミズガヤツリ(東北)、ウリカワ クログワイ(東北)、オモダカ(東北) ヒルムシロ、セリ シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離(東北)	砂壤土 ～ 埴土	500mL		北海道 東北
ドウジガード 1キロ粒剤 51	移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ(九州) ミズガヤツリ、ウリカワ、クログワイ オモダカ、ヒルムシロ、セリ コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州) アオミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海)	砂壤土 ～ 埴土	1kg	ベンスルフロンメチル ：2回以内 ベントキサゾン ：2回以内	全域(北海道、 東北を除く)の 普通期および 早期栽培地帯
ドウジガード Lフロアブル	移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ コウキヤガラ(関東・東山・東海、九州) アオミドロ・藻類による表層はく離	砂壤土 ～ 埴土	500mL		全域(北海道、 東北を除く)の 普通期および 早期栽培地帯

いずれも、使用時期は「移植時」、使用方法は「田植同時散布機で施用」。

*総使用回数は、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。



石原の田植同時処理 除草剤

初期一発剤

ワンオールS1キロ粒剤



- ・非S U系の初期一発剤で、S U抵抗性のアゼナ類やミゾハコベ等の一年生広葉雑草、ホタルイ、さらには難防除雑草のイボクサにも効果が期待できます。
- ・水の出入りを止め、湛水状態のまま水田全面に拡散するように所定量を散布してください。散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

適用雑草と使用方法 (田植同時処理の登録のみ抜粋)

作物名	適用雑草名	適用土壌	10アール 当り使用量	総使用回数*	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ (東北) オモダカ (北陸、関東・東山・東海、九州) ヒルムシロ (東北、近畿・中国・四国) アオミドロ・藻類による表層はく離	砂壤土 ～ 埴土	1 kg	本剤：1回 シメトリン：2回以内 ピラゾキシフェン ：2回以内 プレチラクロール ：2回以内	全域 (北海道を除く) の普通期および 早期栽培地帯

使用時期は「移植時」、使用方法は「田植同時散布機で施用」。

*総使用回数は、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

・使用前にはラベルをよく読んで下さい。・ラベルの記載以外には使用しないで下さい。・小児の手の届く所には置かないでください。

IBJの新農薬
(適用拡大を含む)



新しい農薬です

- 2014年 12月20日～ 2015年1月26日までの間に登録された弊社の新農薬 (適用拡大を含む) は、ございません。引き続き、弊社製品に御愛顧を賜りたく、宜しく御願い致します。

製品の使用方法等、詳しくは当社支店まで。

弊社では、圃場の土壌を御送付頂き、その土壌中のセンチュウ量を測定し、防除計画の御参考にして頂く無料サービスを継続実施しております。



ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 開発普及部

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

TEL 03-5844-6320 FAX03-3812-6548

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

**センチュウ検定
無料キャンペーン
実施中**